



平成 21 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 キヤノン株式会社
代表者名 代表取締役会長 御手洗 富士夫
コード番号 7751
上場取引所 東京、大阪、名古屋（以上第一部）
福岡、札幌
問合せ先 常務取締役経理本部長
大澤 正宏
(TEL. 03 - 3758 - 2111)

会 社 名 キヤノン電子株式会社
代表者名 代表取締役社長 酒巻 久
コード番号 7739
上場取引所 東証第一部
問合せ先 取締役経理部長 黒沢 明
(TEL. 03 - 5419 - 3800)

子会社（アジアパシフィックシステム総研株式会社）の通期業績予想
及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

キヤノン株式会社とその子会社であるキヤノン電子株式会社は、キヤノン電子株式会社の子会社であるアジアパシフィックシステム総研株式会社が、平成 20 年 11 月 4 日に公表した平成 21 年 9 月期（平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の通期業績予想及び期末配当予想について、別添資料のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件によるキヤノン株式会社及びキヤノン電子株式会社の連結業績予想の変更はありません。

以上

平成 21 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 アジアパシフィックシステム総研 株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 内山 毅
 (JASDAQ コード番号 : 4727)
 問 合 せ 先 上席執行役員ゼネラルサポート本部長
 井関 潔
 電 話 03 - 3985 - 4311

平成 21 年 9 月期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 11 月 4 日に公表した平成 21 年 9 月期（平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）の通期業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 修正内容

平成 21 年 9 月期 通期連結業績予想の修正（平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回予想 (A)	百万円 8,250	百万円 285	百万円 300	百万円 165	円 銭 18.33
今回修正 (B)	6,726	145	174	89	9.99
増減額 (B - A)	△1,524	△140	△126	△76	—
増 減 率 (%)	△18.5	△49.1	△42.0	△46.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 9 月期)	7,628	307	320	289	32.15

平成 21 年 9 月期 通期個別業績予想の修正（平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回予想 (A)	百万円 7,150	百万円 305	百万円 320	百万円 185	円 銭 20.55
今回修正 (B)	5,969	197	228	109	12.11
増減額 (B - A)	△1,181	△108	△92	△76	—
増 減 率 (%)	△16.5	△35.4	△28.8	△41.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 9 月期)	7,148	332	351	347	38.63

(2) 修正理由

平成 21 年 9 月期通期連結業績予想

世界的な景気悪化により、企業が I T 投資を抑制する傾向が顕著になってまいりました。当社グループの一部のお客様においてもこの傾向が顕著に見られ、発注規模の縮小や発注意思決定の延期等が発生するケースが散見されました。

これに対し、平成 20 年 11 月のキヤノン電子株式会社による連結子会社化以降、グループシナジーを追求するとともに、営業部門を捩入れして受注力を強化、さらには徹底的なコストの抑制に努めましたが、売上高、営業利益、経常利益ともに当初予想を下回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、貸倒引当金戻入額約 10 百万円、退職給付引当金戻入額約 22 百万円等、約 32 百万円を特別利益として計上する一方、キヤノン電子株式会社との資本提携に係るアドバイザー一手数料 117 百万円等、約 134 百万円を特別損失として処理した結果、当初予想を下回る見込みであります。

平成 21 年 9 月期通期個別業績予想

売上高、営業利益、経常利益については連結業績予想と同様の理由により修正するものです。

当期純利益につきましては、貸倒引当金戻入額約 20 百万円を特別利益として計上する一方、キヤノン電子株式会社との資本提携に係るアドバイザー一手数料 117 百万円や子会社吸収合併の際に発生した合併差損約 17 百万円等、約 152 百万円を特別損失として処理した結果、当初予想を下回る見込みであります。

2. 期末配当予想の修正

(1) 修正内容

	1 株当たり配当金(円)		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想 (平成 20 年 11 月 4 日発表)	—	6 円 00 銭	6 円 00 銭
今回修正予想	—	4 円 00 銭	4 円 00 銭
当期実績	—	—	—
前期 (平成 20 年 9 月期) 実績	—	8 円 00 銭	8 円 00 銭

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつとして認識しており、財務体質の強化と事業拡大に必要な内部留保の充実を考慮しながら今後の事業展開等を総合的に勘案して利益配当を決定することを基本方針としております。

当期の期末配当予想につきましては、前記「業績予想の修正」のとおり、通期業績予想の下方修正に伴い、誠に遺憾ではございますが、平成 21 年 9 月期の期末配当予想を 4 円 00 銭に修正させていただきたくお願い申し上げます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、企業価値の向上及び収益体質の強化に向け、更なる経営努力を重ねてまいり所存でございますので、引き続きご支援を賜りたくお願い申し上げます。

以上